

## 14-3 洪水吐

### (1) 洪水吐 (全景)



#### 留意事項

- 黒板を入れて撮影する。(資料用の場合は不要。)
- △ 主要構造物の完成写真は、後日各資料に使用することが多いので、構図を変えて種々撮影する。

#### 撮影方法

- 構造物全体を撮影する場合は、構造物の機能がわかるような構図で被写体や背景を配置する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 幅・延長・断面仕様・洪水量を記入する。

### (2) 高さの測定状況

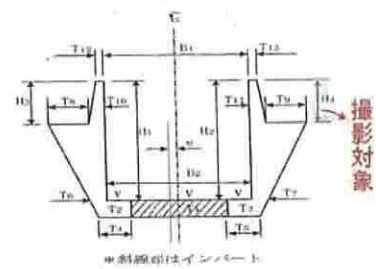


#### 留意事項

- あて木・ピンポールなどをあて、実測寸法がわかるようにする。
- リボンロッドを用い、高さの実測値が読めるようにする。
- 下に置いてある余分なリボンロッドは片付けておく。
- 黒板の略図に測定箇所を赤で表示する。

#### 撮影方法

- 実測値がわかるように撮影する。
- 撮影部位が全体のどこに位置するかわかるようにする。



#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 構造物の略図を記入し、測定箇所を表示する。

### 14-3 洪水吐

#### (3) 配筋確認状況



#### 留意事項

- 鉄筋径を区分できるように、色分けしたマグネット等を鉄筋につけてわかりやすくしている。
- リボンロッドにピンポールなどをあて実測寸法がわかるようにする。

#### 撮影方法

- 配筋の状況がわかるように撮影する。
- 鉄筋間隔等がわかるように撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 鉄筋間隔・径を記入する。

#### (4) 打継目処理状況



#### 留意事項

- 前後の連続性が確認できる。
- レイタンス除去等の作業がわかるように作業の前方から撮影する。
- 黒板を入れて撮影する。

#### 撮影方法

- 作業内容がわかるように撮影する。
- 前後の連続性も確認できるアングルで撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容を記入する。

## 14-4 埋設計器

### (1) 岩盤変位計 (センサー)



#### 留意事項

- 埋設するセンサーと取り付け状況がわかる。
- 撮影に支障となる余分なものは片付けておく。
- 埋設計器の設置枠が濁水で見えにくいので、清掃してから撮影する。
- 設置位置が黒板に記入されていない。

#### 撮影方法

- フィルダム工事等において使用する埋設計器類については、埋設前の計器本体全景を撮影する。また、計器類の埋設状況(名称、位置等)についても撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 設置位置(測点・標高等)
- 作業内容
- 計器名(〇〇部分)
- 管理番号
- 初期値を記入する。

### (2) 岩盤変位計 (設置後)



#### 留意事項

- 設置状況がわかりやすい。
- 黒板を入れて、計器名・管理番号・設置位置が確認できるように撮影する。
- 枠寸法の確認のためにあて尺をおく。

#### 撮影方法

- 作業内容がわかるように撮影する。
- 前後の連続性も確認できるアングルで撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- 設置位置(測点・標高等)
- 計器名(型式)
- 管理番号
- 測定範囲、最小測定値
- 初期値を記入する。

## 14-4 埋設計器

### (3) 土圧計 (計器本体)



#### 留意事項

- 水平器が置かれ設置状況がわかりやすい。
- 撮影目的を明確に黒板に記入する。
- 気泡等が確認できるように撮影する。
- 計器仕様や設置位置 (標高等) の黒板記入内容が不十分である。

### (4) 土圧計 (埋設)



#### 留意事項

- トレンチの形状やトレンチ内の計器の位置関係がわかりやすい。
- 黒板に初期値・標高等が記入され確認ができる。

#### 撮影方法

- 設置計器名・設置位置が確認できるように撮影する。
- 埋設後目視できない計器の特徴がわかるように留意して撮影する。
- 設置状況がよくわかるように撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 設置位置 (測点・標高等)
- 作業内容
- 計器名 (型式)
- 管理番号
- 較正值等、受入測定値 (絶対抵抗値等) を記入する。

#### 撮影方法

- 作業内容がわかるように撮影する。
- 前後の連続性も確認できるアングルで撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- 設置位置 (測点・標高等)
- 計器名 (型式)
- 管理番号
- 初期値を記入する。

## 14-4 埋設計器

### (5) 層別沈下計 (クロスアーム本体)



#### 留意事項

- 水平器で確認している状況と埋設用ピットとの位置関係がわかりやすい。
- 黒板の記入内容が確認できるように黒板をカメラに向ける。

#### 撮影方法

- 設置計器名・設置位置が確認できるように撮影する。
- 埋設後目視できない計器の特徴がわかるように留意して撮影する。
- 設置状況がよくわかるように撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 設置位置 (測点・標高等)
- 作業内容
- 計器名 (型式)
- 管理番号を記入する。

### (6) 層別沈下計 (クロスアーム埋設)



#### 留意事項

- 構造上の特徴であるクロスアームと接続されたパイプが確認できるタイミングで撮影されている。
- 整形されたピットの埋設状況がわかりやすい。

#### 撮影方法

- 作業内容がわかるように撮影する。
- 前後の連続性も確認できるアングルで撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- 設置位置 (測点・標高等)
- 計器名 (型式)
- 管理番号を記入する。

## 14-4 埋設計器 (7) 間隙水圧計



### 留意事項

- 手前の計測計器が一部しか写っていない。
- 黒板に必要事項が記入されていない。

### 撮影方法

- 設置計器・設置位置が確認できるように撮影する。
- 計器を設置する場合に必要な計測計器も確認できるようなアングルで撮影する。

### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 設置位置 (測点・標高等)
- 作業内容
- 計器名 (型式)
- 管理番号
- 較正值等、受入測定値 (絶縁抵抗値等)
- 間隙水圧計及びジョイントキット等の規格
- 洗砂・モルタル等の量を記入する。

## (8) ケーブル布設状況



### 撮影方法

- 全体施工状況が確認できるように撮影する。
- 撮影位置が全体のどこに位置するかわかるようにする。

### 黒板記入内容

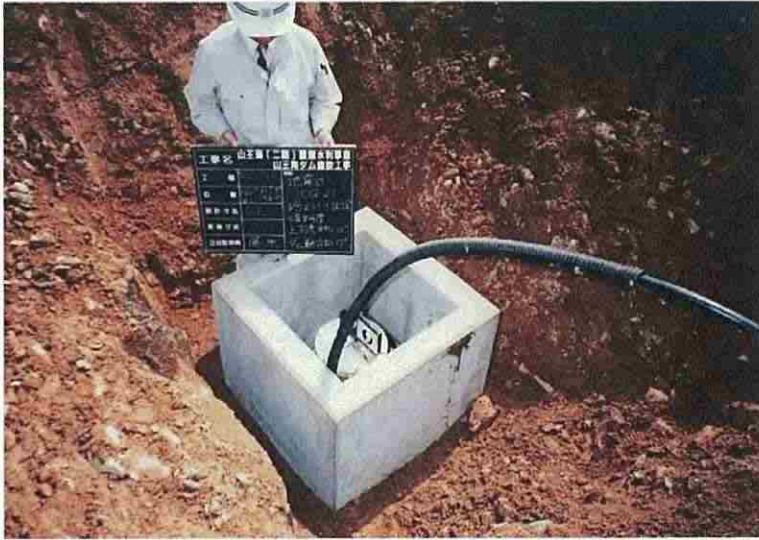
- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- ケーブル種類、ケーブル径、本数、延長等
- ダム略図を記入し、設置位置を表示する。

### 留意事項

- ケーブルの設置状況がわかりやすい。
- 黒板にダム略図を記入し、布設位置を表示し、ダム全景も撮影して位置関係がわかるようにする。
- ケーブルに接続する計器が確認できるように工夫する。

## 14-4 埋設計器

### (9) 地震計 (設置状況)



#### 留意事項

- 計器の設置状況はわかりやすい。
- △このほかに、設置前の計器の形状と設置位置が確認できるように、それぞれ撮影する。

#### 撮影方法

- 設置計器の形状等・設置位置が確認できるように撮影する。
- 個々の設置状況のほか、撮影部位が全体のどこに位置するかわかるように撮影する。

#### 黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 作業内容
- 設置位置 (測点・標高等)
- 計器名 (型式)
- 管理番号
- 初期値
- ダム略図を記入し、設置位置を表示する。